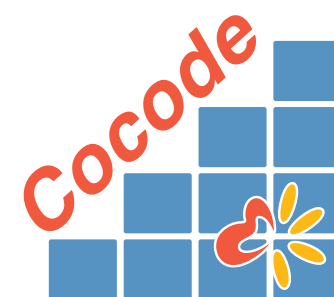


宮城交通グループ研修センターは、運転技術の習得に留まらず、求められるホスピタリティの精神を身につけるとともに、過去の重大事故や大規模災害を教訓とし、健康管理や災害時の対策等を幅広く学び、加えて、公共交通従業員として地域に貢献できる人づくりを目指す場です。

将来的には当社グループのバスの運転士育成に留まらず、多くの交通運輸従業員の育成並びに地域の皆さんの学びの場として「Cocode(ココデ)」育っていくことを願っております。

宮城交通株式会社

代表取締役社長 青沼 正喜



宮城交通グループ
研修センター

Cocode

〒989-1311 柴田郡村田町大字足立字水押18-2
TEL:0224-87-8325 FAX:0224-87-8326

<http://www.miyakou.co.jp>



宮城交通グループ
研修センター

Cocode

施設案内



1階 First Floor

展示室では、宮城交通グループの歴史や、東日本大震災時の記憶を伝えるとともに、過去に発生した重大事故を教訓として、その後の当社の安全対策を紹介しております。

シミュレーター・適性診断室には、適性診断の測定システム(ナスバネット)を設置しており、自動車の運転に関する長所、短所といった運転の癖を様々な測定により見出し、交通事故防止に活用しております。

また、東北のバス会社では初となる大型バス安全運転シミュレーターを用いた教育を行っております。実際の公道で起こる事故事例をもとに様々なシーンを走行します。ヒヤリハットの体験トレーニングをすることで、危険予測の重要性を再認識させることを目的としています。



展示室



大型バス安全運転シミュレーター



適性診断測定システム(ナスバネット)



展示室

2階 Second Floor

最大40名の集合研修ができる研修室があります。なお、フロア内の一角にはコミュニケーションダイニングを設けており、研修生同士で懇親を図ることができます。

また、宿泊室を9部屋設置。各部屋は、それぞれバスルームとトイレが完備され、プライベートが守られた空間になっています。セキュリティも万全で、研修生は安心して宿泊することができます。



研修室



宿泊室



宿泊室



コミュニケーションダイニング

教習スペース Training Space

研修用コースは、S字・鋭角・クランクコースなど備えており、模擬バス停や視界を遮る障害物なども設置し、バスの運転に特化したコースになっています。また、滑りやすい路面でスリップを体験できるスキッドゾーンも設けております。

なお、安全運転訓練車「ゼロワン」を使用した教習も行っており、安全確認行動、運転技能における癖(問題点)を表示・数値化することにより、運転士自らが自分自身の癖を把握することができ、指導においても説得力の高い指導を行うことができます。



研修用コース



安全運転訓練車内



各種障害物ゾーン



スキッドゾーン



宮城交通グループ過去の重大事故

